

令和3年の年頭、仕事始めに当たりまして、私から皆さんにご挨拶をさせていただきます。

明けましておめでとうございます。皆さんには、ご家族、ご親戚、ご友人と良き新年を迎えられたことと存じます。

旧年は、昨年の年明けでは想定しておりませんでした新型コロナウイルスの感染拡大対応に全庁をあげて、地方機関も含めて、皆さんに大変なご尽力をいただいたところでございます。

この年末年始も含めて、保健所、また地方機関地区災害対策本部、そして健康福祉部を中心に、連日の感染検査結果の対応にも年末年始にかかわらず日夜ご尽力いただいたところでございます。

おかげさまで、特に県民の皆様、また県内事業者の皆様方の多大なご尽力をいただきまして、全国的にみれば感染は低位に抑えられているというふうな状況でございますけれども、県内各所で様々な影響が出てきており、県政に寄せられた期待は大変大きいものがございました。その状況はこの年末年始の首都圏、3大都市圏での感染の急拡大という状況を受けまして、本年も残念ながら変わらない、より強まった形での年始を迎えたところでございます。

そういったことで、今年1年も、まずは、新型コロナウイルスの感染拡大、そしてその防止、それに対する様々な対策を第一に進めていかなければなりません。

残念ながら、今の全国の状況を見ますと、全国の平均的な姿というのは、感染急拡大を受けて様々なものが抑制されているという場面であります。

先日の全国知事会でも私自身申し上げましたけれども、感染が低位にある地域での、島根県のような地域で、県民の皆様が、県内の宿泊施設等を利用するということが感染拡大につながるとは思えないので、県民による県内利用に限ったような形でのGoToトラベルを再開してもらえないか、といったことを知事会で発言いたしました。全国的に見れば、大きな流れからすると、全くの少数派であります。

ただ、多くの県民の皆様の感染防止に対するご努力、事業者の皆様の休業要請がないにも関わらず、開店休業に近い状況を堪え忍んでいただいている状況を踏まえますと、全国的な雰囲気の流れに流されて黙ってしまうということが許される状況ではないというふうに思っております。

県内、全国各地域、様々な状況があり、それに適した感染防止対策と経済社会活動の回復の姿というのは一律ではありません。

そういったことをこの県民の皆様がこれだけ努力していただいているということを受けて

我々も少数派として、本来言いにくい雰囲気にならずにきちんと伝える必要があると思っておりますし、全国的に見れば、奇異に見えるかもしれないけれども、必要な対策、必要な対応をしていかなければならないという意味で、年初から気持ちを新たにしているところであります。

そういった県民の皆様、事業者の皆様が置かれている現状をつぶさに把握して、県政、また国政に対して持って行くもの、求めていくこととして、必要なことは何かということ、これを正確に把握して、県政として発信していかなければならない。それに向けて汗をかいていかなければならないという1年になります。

そういった意味で幅広い県民の皆様、事業者の皆様、声を吸い上げていく、事業者の皆様、現状を確認し、それを県政に生かしていくという意味で、県庁内各部局全体で連携して取り組んでいく必要がございますので、ぜひ引き続きこの感染拡大防止と、社会経済活動の回復、これに最重点で取り組んでいく覚悟でございますので、引き続きの職員の皆様のご奮闘をお願い申し上げます。

そして、アフターコロナを見据えて、また島根県として、このコロナの感染拡大がある中でも、流れが止まっていない人口減少対策ということ、停止しておける余裕があるわけではありません。

一部には、大都市での生活が見直されて、地方回帰といった流れが自然に生じるのではないかという見方もありますけれども、直近の数字を見ましても、東京都の社会減というところがどこに影響が出ているかという、首都圏近郊であるという厳しい現実がございます。

東京、大阪といった地域での生活の見直しが仮にあるとしても、それが直ちに島根県にというわけにはいかないわけでございます。

これをきちんと島根県の人口増につなげていくには、もう一段の対応が必要でありますし、これまで続けてきました企業誘致ですとか、県内の企業のこの強みを更に伸ばしていくといった取り組み、これも引き続き取り組んでいく必要がございます。

そういった意味で、悪戦苦戦といいますか、取り組むべき分野が二つに増えていくわけでございますし、当面この感染拡大防止とその対策に注力する部門、そのサポートに全庁をあげて取り組みますけれども、その中で限られたリソースかもしれませんが、その余力部分は最大限、人口減少対策に取り組んでいく必要がございます。

ということで、今年1年も昨年にも増して、大変厳しい1年になるかと思っております。

ただ、昨年も、昨年来ずっとこの厳しい状況が続いておる県職員の皆様には大変心苦しいところではございますけれども、ある意味、日本の中で一番頑張っておられる県民の皆様、事業者の皆様の努力に報いるべき立場にある島根県政として、引き続きまして、昨年に引き

続いて、今年1年を全力で乗り切り、そして1年が終わる頃には、昨年、今年の年初の厳しい状況と比べれば大丈夫だったというふうに県民の皆様を感じていただける、そして我々も実感できる、そういう1年にしていきたいと思ひますし、していかなければいけないと思ひていますので、引き続き幹部職員の皆さんをはじめ、県職員の皆さんにはご奮闘をお願いしたいと思ひております。

本来であれば、年末に申し上げるべきことも含めてでございますが、昨年1年の多大な県職員の皆さんのご尽力に心から感謝申し上げますとともに、今年1年も更なるご奮闘を是非ともお願いいたしまして、年初に当たりましての訓示とさせていただきます。

今年1年、皆さんよろしくお願ひします。